

御前山ビオトープ通信

平成26年4月27日

第44号

発行：御前山ダム環境センター

編集：NPO「美しい田園21」清野

メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



【案内図】



目次

1. TOTO 茨城工場秋季活動 H25. 11. 23
2. 御前山小6年生の山桜植樹 H26. 4. 15
3. 御前山ダム湖周辺を歩く会 H26. 4. 19

1 TOTO 茨城工場秋季活動

11月23日（土）に、TOTO 茨城工場の皆さんによる秋の活動を行いました。

午前9時御前山ダム管理所駐車場に集合すると、風もなかったことから湖面が鏡のようで、対岸の紅葉が湖に逆さに映えて素晴らしい風景でした。

作業を予定していた対岸のヤマサクラ植栽地はあまり草も伸びていないとのことで、ビオトープの管理作業を行うことにしました。

道路法面の草刈り、水路の浚渫、湿地の除草などを手分けして行いました。

作業に先だってダム御前山環境センターからビオトープの案内を行いました。

お昼は桧山集会所に移動し、地元の婦人手作りのカレーとキノコ汁をいただきました。

食事をしながら地域の皆さんとビオトープや御前山の自然環境について和気あいあいと意見交換を行いました。

最後に集会所前の紅葉が素晴らしかったので、秋景色をバックに皆で記念撮影をしました。

ちょうど那珂川は鮭の遡上の最盛期で、大橋から下をのぞくと大群を観察することができました。

TOTO 茨城工場は3月15日（土）にも同様の活動を行いました。



満水の御前山ダム、湖面に逆さに映える紅葉

2 御前山小 6 年生の山桜植樹

御前山ダム環境センターは地元の皆さんと一緒にダム周辺を山桜で彩ろうと数年前から植樹に取り組んでいます。

4月15日(火)には、常陸大宮市御前山小学校の6年生全児童がダム直下の公園に山桜の苗木を記念植樹しました。

当日は、ダム湖周辺に山桜やヤマブキなどが開花する素晴らしい天気にも恵まれました。

ジャージに長くつの子供 32人が御前山ダム環境センターの指導で一本ずつ丁寧に植え、添え木に自分の名前を書いた木札をとりつけました。

同小では5年生で御前山ピオトープの稲作体験、今回の植樹が小学校生活での環境学習の集大成となり、御前山中学校へ進学すると御前山ピオトープの希少植物のモニタリング作業等継続的に取り組む予定となっています。

この取り組みは、翌日の茨城新聞県北版にも掲載されました。



山桜植栽後に記念撮影

3 御前山ダム湖周辺を歩く会

4月19日(土)に御前山ダム環境センター主催、常陸大宮市、同体育協会、関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所の後援により「御前山ダム周辺を歩く会」が開催されました。

歩く会は、自然環境豊かな御前山ダム及びダム公園を広く市民にPRし、市民の健康と地域の活性化を目的としています。

前日の雨で天気が心配されましたが、朝から爽やかな晴天となりウォーキングには絶好の日となりました。出席した常陸大宮市の三次市長は「平成20年の湛水試験直前の湖底ウォークにも参加した。今ダムが完成し湖に映える素晴らしい自然環境を満喫しながら、市民の皆さんと楽しく歩きたい」と挨拶がありました。ダム事業主体の農政局那珂川沿岸農業水利事業所の田上所長からダムの役割や構造について紹介しながらの挨拶がありました。後援団体でも



小さな子供も頑張りました。

ある常陸大宮市体育協会の指導で準備体操を行い、早速ウォークに出発しました。小さな子供から高齢者まで100人近い参加者があり、4.5kmを一時間半程度で廻りました。残念ながら山桜は前日の風雨で葉桜になっているところが多かったのですが、山桜は多様な品種がありまだまだと頑張っている木もありました。新緑の緑がパッチワークように映え、沿道には菜の花やヤマブキソウなどが出迎えてくれました。要所で長山会長が自ら見所の植物を紹介し解説してくれました。ゴール後に事業所の案内でダム監査廊を視察しました。

ゴール地点のダム管理所で湖面を背景に記念撮影

